

ELYTRA

The Journal of
Japanese Society of Coleopterology



Vol. 5 No. 2
(Nov. 1977)

日本鞘翅目学会

投稿規定

1. 日本鞘翅目学会々員は会誌 ELYTRA に投稿できる。
2. 投稿内容は甲虫に関連したものに限る。
3. 投稿の掲載可否および掲載時期については編集局の合議による。
4. 原稿分量は、原則として1号1篇あたり刷上がり16頁までとし、それ以上のものは2回以上に分ける。
5. 和文の原稿は横書き、原則として現代かなづかいを用いる。
6. 原著に関しては欧文表題を付すこと。
7. 欧文の原稿には和文表題を付すこと。
8. 原著には Summary (要約) を付すことが望ましい。
9. ELYTRA に掲載される原著論文は、本会の審査委員会による審査を受け、受理されたものでなければならない。
10. 印刷代著者負担の原稿は、上記審査委員会で受理されれば、指定の号に掲載することができ、また、ページ数の制限をうけない。
(主に和文の原稿：1ページにつき ¥ 5,500, 主に英文の原稿：1ページにつき ¥ 7,500)
11. 和文の原稿では、種名は和名を主とし、学名は必要最小限にとどめる。
12. 新種および日本未記録種の記載については、必ず標本写真(原記載の場合は holotype に限る)あるいは写真に代わりうる図を付し、それらから種の特徴が判別不可能な場合には、別に図版をもってこれを補うことが望ましい。
13. 動植物の学名は、*Necydalis major* LINNÉ のように命名者は全記すること。ただし、同文中で重複する場合は省略してかまわない。
14. 文献は本文の終わりに一括して記すことが望ましい。雑誌名および巻号は省略体でよい。
(例) Ent. Rev. Japan 19, p.5~34, 1967
15. 活字の指定および校正は編集局に一任されたい。ただし、原著に関しては、初校は著者校正とする。
16. 別刷は原著に限って作成(50部以上)し、50部までは実費の半額を当会が負担、それ以上は著者の全額負担とする。(送料著者負担)
17. 掲載済の原稿は返却しない。ただし、原図・写真は希望があれば返却する。
18. 原稿の送付先は、当分の間、下記宛とする。

〒110 東京都台東区台東2-29-6 藤田 宏方, 日本鞘翅目学会編集局

〔投稿に関する注意事項〕

- a. 和文は「～である」調を用いる。ただし、会話文はこれに当てはまらない。
- b. 欧文原稿は1行60字内外にタイプする。
- c. 未記録種の投稿に際しては、それが未記録であると考えた理由を明記することが望ましい。
- d. 分類の紛らわしい種の記録を行なう場合は標本写真を付すことが望ましい。なお、本会誌に用いるための標本写真撮影は当会にても行なうので、希望者は事務局宛に連絡されたい。(1号につき4点までは無料、それ以上は実費を請求する。)
- e. 写真および図版は出来上り予定寸法の1.5倍程度に製作するとよい。
- f. 採集データ(和文)は次のように略記すればよい。
5♂♂ 1♀, 群馬県武尊山, 16.VII.1970, 衣笠恵士採集
- g. 原稿は編集局により一部変更されることがあるが、変更箇所が内容及ぶ場合はあらかじめ著者の了解を求める。また、不備な原稿は書き直しを要求することもある。
- h. 原著論文の著者校正において、校正中の追加・変更は一切認めないので、完全原稿を旨とすること。

台湾産食糞コガネムシ解説〔5〕

益 本 仁 雄

A Revision of the Coprophagid-beetles from Formosa〔5〕

By Kimio MASUMOTO

(Received Aug. 25, 1977; Accepted Sept. 29, 1977)

前回の解説の中で *Aphodius* (*Phalacrothous*) *avunculus* BALTHASAR としたものはやはり新種であったので、*Onthophagus* 1種および *Rhyssenus* 1種とともに、巻末にて新種記載を行なうこととした。

1-2 *Oxyomus* マルマグソコガネ属

前属によく似るが、上翅の縦条は稜状に高まり、両側のもは基部に達し、間室は平圧され、そこに横長のやや大きい点刻を装う点で区別できる。これまで約20種が知られており、近年、日本および台湾から新たな種が得られている。この属はおもに食糞性であるが、森林や山地に生息している小型種のため、われわれにとってあまりなじみがない。

三輪・中条(1939)は台湾から *O. cameratus* A. SCHMIDT を記録しているが、分布は疑わしい。台北の農業試験所に Kotosho のラベルの付いた本属の個体があるが、一連の混入標本とみられる。

著者が1972年、霧社にて本属の1種を採集し、野村(1973)によって新種とされたものが、現在、唯一の台湾産 *Oxyomus* である。

O. masumotoi NOMURA ムシャマルマグソコガネ*
(写真1)



体長約3mm。暗赤褐色で光沢は弱い。上翅は9条溝。小肩歯を具え、上翅間室には2列の粗大点刻を具える。

直射日光をさけた人・牛糞より得られている。

採集記録：霧社(5, 7月), 松崗(8月)

写真1 *Oxyomus masumotoi* NOMURA

2. *Eupariini*

次の3属が得られているが、いずれも朽木等を食する一群である。

台湾産 *Eupariini* の検索

1(2) 前脛節の先端は直角に切断状で、歯状突起を1個具える。外縁は多くの小歯がみられ、その内の1~2は大きい。

Dialytes HAROLD

2(1) 前脛節の先端は斜めで、歯状突起を具えない。

3(4) 体は軽く膨隆し、頭胸背はほぼ同幅。上翅基部はふちどられない。中胸板は後胸板と同平面か、少し圧せられる。付節は短い。

Saprosites REDTB.

4(3) 体はより強く膨隆し、頭は前胸より幅狭く、上翅基部はしばしばふちどられ、中胸板は常に後胸板より深く位置する。付節は長め。

Ataenius HAROLD

2-1 *Dialytes* フトツツマグソコガネ属

全世界で10種ほどしか知られていない小属である。台湾からは、南西諸島に分布するものと共通種が得られている。

D. foveatus A. SCHMIDT フトツツマグソコガネ

(写真2)

採集記録：南山溪(3, 6, 8月), 六龜(7月)

なお、中根(1960)によれば、台湾産の *Dialytes* は、北ベトナムの *D. canescens* BALTHASAR に近いとしているが、台湾で得られている個体はむしろ *D. foveatus* と考える。

2-2 *Saprosites* ツツマグソコガネ属

本属はヨーロッパおよび中近東を除く全世界より90種あまりが知られ、多くは島嶼に生息するという。台湾より三輪・中条(1939)が1種、野村(1973)は3種を記録している。いずれも特長の少ない種類であり、区別がむずかしい。

S. yanoi NOMURA ヤノツツマグソコガネ*

野村が1939年に台湾より記載したものである。その後、南山溪(10月)からも記録している。次種に近いものらしい。

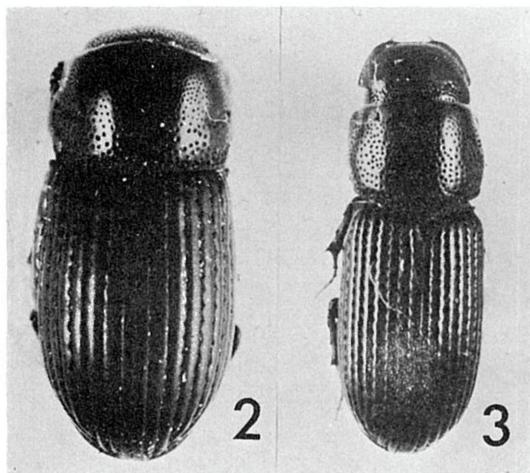


写真 2 *Diallytes foveatus* A. SCHMIDT

写真 3 *Saproscites japonicus* WATERHOUSE

S. japonicus WATERHOUSE

クロツツマグソコガネ (写真 3)

日本各地のみならず、中国、北ベトナムまで分布している種で、台湾からも本島の他、蘭嶼から採集されている。

台湾中部の個体は前胸背の点刻が整って、大きい点刻の間に散布されている小点刻はきわめて微小で、数も少ないのに対し、蘭嶼の個体は、粗造で、小さい方の点刻がかなり明らかである。灯火に飛来する。

採集記録：台湾本島各地(7~10月, 12月), 蘭嶼(6, 10月)

S. longethorax PAULIAN ナガムネツツマグソコガネ*
フィリピンのルソンから記載したものであるが、野村(1973)が蘭嶼から記録している。2~2.5mmの小型種。

採集記録：蘭嶼(6~7月)

2-3 *Atenius* ニセツツマグソコガネ属

Aphodius 属に次ぐ大きな属で、世界に約 250 種が知られている。多くは前属同様に島嶼に分布している。台湾からは次の 1 種が知られている。

A. fukiensis BALTHASAR

フッケンニセツツマグソコガネ

体長 4.5~5 mm。黒色でかなり光沢のある種である。南中国、シンガポール、カンボジア、スマトラなどから知られているが、野村(1973)が台湾より新たに記録した。

採集記録：緑島(7月)

3. *Psammobiini*

12属 200 種が知られている。台湾からは次の 4 属の他、三輪・中条(1939)による *Rhyssmodes* 属の記録(*R. inscitus*)があるが、インド、セイロン等に分布するも

ので、あやしい記録と考える。

台湾産 *Psammobiini* の検索

- 1(6) 中後付節は脛節の長さ近く、はっきりとしている。細い後脛節端刺はたいしては短かく、第 1 付節とはほぼ同長。
- 2(5) 上翅間室は顆粒等を装う。
- 3(4) 上翅は背面に刺毛を具える。 *Trichiorhyssemus* CL.
- 4(3) 上翅は背面に刺毛を具えない。 *Rhyssemus* MULS.
- 5(2) 上翅の間室は点刻されるのみ(前胸背は通常、縦溝と両側にくぼみを有する)。 *Pleurophorus* MULS.
- 6(1) 中・後付節は脛節より明らかに短かく、三角形に広がる。後脛節の上端刺は、第 1 および第 2 付節の長さぐらいか、さらに長い(前胸背側・後縁に刺毛を列生、縦溝と横隆起および横溝を具える。後脛節の端刺は強壯でしばしば広がる)。 *Psammobius* HEER

3-1 *Pleurophorus* タテスジケシマグソコガネ属

15種あまりが知られている小属であり、野村(1973)が次の 1 種を台湾より記録している。

P. tonkinensis BALTHASAR

トンキンタテスジケシマグソコガネ*

体長 2~2.8 mm。黒褐色で光沢がある種で、墾丁(6, 8月)で採集されている。

3-2 *Trichiorhyssemus* ヒメケシマグソコガネ属

世界で約 20 種記録されている。台湾からは三輪・中条(1938)が 1 種、野村(1973)が 2 種を記録している。また、農業試験所にはこれらと別な種の標本がある。

T. lasionotus CLOUËT

チュウゴクヒメケシマグソコガネ*(写真 4)

体長約 3 mm。黒褐色。前胸背は顆粒を装い、上翅の刺毛は 1 列である。野村(1973)は内湾から本種を記録したが、墾丁にも分布している。BALTHASAR によると北中国と日本(東京付近!?) から知られているという。なお、墾丁産の個体は、*T. lasionotus* の記載に大むね合致しているが、上翅は赤褐色でなくむしろ黒褐色で、肩齒もそれほど強壯でない点など、いくつか気になる点がある。

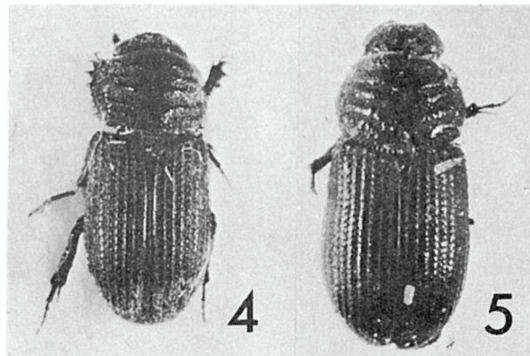


写真 4 *Trichiorhyssemus lasionotus* CLOUËT

写真 5 *Rhyssemus malasiacus* LANSBERGE

ある。

採集記録: 内湾(7月), 墾丁(5月)

T. hauseri BALTHASAR

ランユウヒメケシマグソコガネ*

ボルネオより記載された種であるが、野村によって台湾からも記録された。体長3.5mm。ほっそりとして、黒色、光沢少なく、上翅間室は強く膨隆する種である。刺毛は1列である。

採集記録: 蘭嶼(4月)

**T. hirsutus* CLOUËT スンダヒメケシマグソコガネ*

スンダ列島およびインドから知られている種である。試験場には台南のラベルの個体があるが、例の混入種と思われる。

なお、この他 *T. asperulus* (WATERHOUSE)の標本が試験場にあるが、採集地は不明である。

3-3 *Rhyssemus* コケシマグソコガネ属

世界からおよそ90種が知られているが、台湾からは野村(1973)の2種と、後に著者による1新種の3種が知られている。

R. malasiacus LANSBERGE

マレーシアコケシマグソコガネ*(写真5)

南アジアに広く分布する種で、体長2.8~3.5mm。上翅は長卵形、黒~黒褐色でかなり光沢がある。

採集記録: 墾丁(5, 8月), 緑島(7月)

R. tonkineus BALTHASAR

トンキンコケシマグソコガネ*

体長3mm。長形で両側にはほぼ平行、黒褐色で光沢がある。前種に似るが、中後腿節は細く、また、前胸背の条溝は強く深く点刻される。北ベトナムから記載されたものである。

採集記録: 鯉魚潭(8月)

なお、本種と同定した個体は、後述新種と同一の可能性がある。

3-4 *Psammobius* ケシマグソコガネ属

50種あまりが知られているが、台湾からは三輪・中条(1939)が1種を記録し、野村(1973)が2種の新種を追加した。

野村による台湾産 *Psammobius* の検索は次の通り。

1(4) 前胸背には横の4溝5隆起を具え、両側と基部外縁は刺毛を装う。

2(3) 体は幅広い卵形で強く膨隆し、光沢を有する。暗赤褐色。上翅の第10間室は膨隆し、短い。小型(2.6mm)。

kobayashii NOM.

3(2) 長卵形、かるく膨隆し、光沢は弱い。黒褐色。第10間室は平らで、短かめられない。大型(3.6mm)。

subopacus NOM.

4(1) 前胸背は明らかな横の陸起や溝を有さないで、前縁に沿って圧せられた線と、両側中央後方にやや斜めのくぼみと基部に短い縦溝を装う。上翅の第10間室は短かめられず先端1/4まで達す。
indicus HAROLD

P. kobayashii NOMURA コンテイケシマグソコガネ*

P. generosus (REITTER)に似るが、暗色で、頭楯は角ばり湾入し、前胸背の外縁刺毛は細くなく棍棒状で後付節は長いという。

採集記録: 墾丁(4月)

P. subopacus NOMURA

リュウトウケシマグソコガネ*

本種は *P. laevipennis* COSTA に似るが、前胸背の外縁刺毛は棍棒状で、上翅条溝の点刻が粗いという。

採集記録: 緑島(7月)

P. indicus HAROLD インドケシマグソコガネ

熱帯地方に広く分布する種である。なお、農業試験所に本種と同定された標本があるが、産地は不明である。

採集記録: 墾丁(4月)

4. Rhyparini

本族からは5属約50種が知られているという。台湾からはその内の *Rhyparus* 1属が知られている。朽木性と思われる。

4-1 *Rhyparus* カクマグソコガネ属

これまで約30種が知られている。台湾からは三輪・中条(1939)により3種記録され、野村(1973)はそのうちの2種を記録している。

この属の種はよく似ており、また、個体変異も著しい。島嶼性の昆虫であるため分化も進んでいることも考えられるが、むしろ多くの種に分けられているものが実は数系統に整理されると思われる。灯火に飛来する。

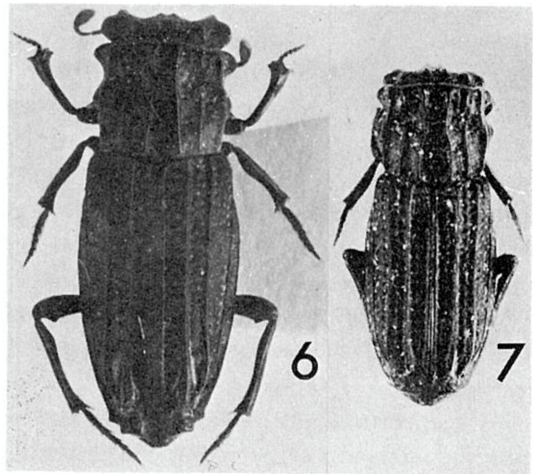


写真6 *Rhyparus peninsularis* ARROW

写真7 *R. helephoroides* FAIRMAIRE

R. peninsularis ARROW

ベナンセスジカクマグソコガネ(写真6)

体長6~7 mmの大型種である。マレーシアおよび台湾で得られている。

採集記録: 鯉魚潭(10月), 南山溪(5~9月), 梅峰(5, 8月), 奮起湖(5, 8月), 墾丁(8月), 知本(8月)

R. helephoroides FAIRMAIRE

ヒメセスジカクマグソコガネ(写真7)

体長3.5~4 mmの小型種。ジャワ, ボルネオの他, 南西諸島, 台湾より採集されている。

採集記録: 南山溪(5~9月), 霧社(5, 8月), 奮起湖(5, 8月), 墾丁(8月), 蘭嶼(6~8月)

これらの他, 三輪・中条(1939)は中型(5~6.5 mm)で中腿節下辺に歯状突起を具えない, *R. philippinensis* ARROW を記録しているが, まだ該当標本を検し得てい

ない。

後記

以上でこれまで知られている台湾産食糞コガネムシについての再検討が終わったことになる。なお, 今後 Aegialiinae (セマグソコガネ亜科) や, すでに解説したグループ*)の新種や新記録種も調査が進むにつれ出てくることも大いに期待できる。

ご指導, ご協力を賜った諸氏に再度, 深く謝意を表したい。

1977年8月15日

*) 後述の新種の他, *Onthophagus tritinctus* BOUCOMONT および *O. neofurcatus* GOIDANICH に似た種が採集されている。これらについては, 追ってあらためて詳しく発表する。

II Description of new species

1. *Onthophagus (Onthophagiellus) taiyaruensis* sp. nov. (Fig. 8)

(Japanese name: Taiyaru-enma-Kogane)

Black to piceous, with femora, tibiae, antennal stalks and palpi more or less reddish, tarsi paler, short hairs on pronotum and on elytra pale yellow. Surface of body rather strongly shining.

Broadly oval, deeply waisted, moderately convex. Head a little broader than long, moderately convergent forwards from rounded genae, with outer margin slightly reflexed and margined, truncate in front, surface almost flattened, slightly convex in middle. Clypeus closely and coarsely punctured, transversely wrinkled in front, genae and vertex rather closely punctured, punctures separated by distance equal to their own diameter, frons more closely punctured. Frontal and genal sutures slightly elevated, the latter scarcely reaching short obsolete bisinuate elevation between frons and vertex.

Pronotum well-convex above, rather closely punctured except near hind angles, punctures separated by one to three diameters, each bearing short hair. Front angles acutely produced and hind ones scarcely angulate, lateral margins strongly rounded and feebly sinuate before base, rather strongly rounded and slightly angular at middle.

Elytra shallowly crenate-striate, striae intervals nearly flat and coriaceous, with two or three rows of setigerous minute punctures.

Pygidium medially convex, coarsely but shallowly and rather closely punctured and pubescent. Metasternum with setigerous punctures, sparse and minute in middle, and a little closer and somewhat ocellated at sides. Each abdominal sternite almost

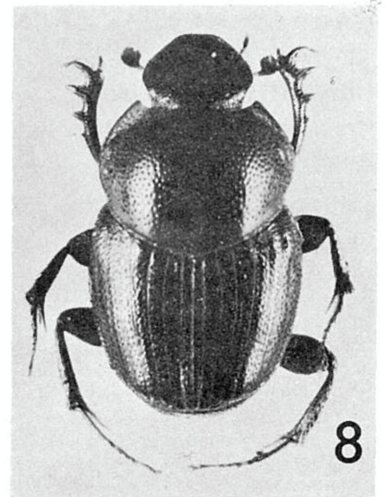


Fig. 8 *Onthophagus (Onthophagiellus) taiyaruensis* sp. nov. (holotype)

smooth, with row of pubescent punctures at base.

Protibiae rather strongly prolonged and incurved in apical portion, with apical three of outer teeth strong and acute, basal one very small and indistinct, terminal spur bold and bent downwards. Basal joint of metatarsi about four times length of the next, as long as total of following four joints, and a little longer than terminal spur. Inner tip of metatibiae produced into short but acute process.

Length: 6 mm.

Holotype: ♂, Wushe, Nantou Hsien, Formosa, 10. VIII. 1975, K. MASUMOTO leg. paratypes: 1♂, ditto, 11. VIII. 1977, K. MASUMOTO leg; 1♂, Sungkang, 23. VIII. 1973, Y. KIYOYAMA leg.

O. taiyaruensis may be separated from the related species *O. crassicollis* BOUCOMONT in having the noticeable sutural elevations between the clypeus, the genae and the frons of each other, the almost flat elytral intervals, and the 1st joint of metatarsi as long as four following combined, and lacking metallic luster on the upper surface.

2. *Aphodius* (*Phalacrothus*) *pseudoavunculus* sp. nov. (Fig. 9)

(Japanese name: Kontei-mame-maguso-kogane)

Brown, with anterior margin of head, sides of pronotum, legs, and under surface yellowish brown, disc and a pair of obscure patches at sides of pronotum darker. Head and pronotum rather strongly shining and elytra weakly. Short setae on elytra yellowish.

Oblong and subparallel, moderately convex. Head slightly convex, finely but rather closely and evenly punctured throughout, punctures separated by one or two diameters, except transverse impunctate area at base, with clypeus rather broadly and feebly emarginate at anterior margin, slightly convex in middle before distinct frontal suture, feebly depressed below in front, genae arcuate and a little more strongly produced than eyes.

Pronotum parallel at basal two-thirds, gradually narrowed forwards and feebly sinuate before base, front angles subrectangular, hind ones obtuse, base broadly rounded with fine marginal groove, groovy punctures very minute and tied in row, so small as to be indecipherable until magnified at least 30 times, disc with fine punctures separated by one or two diameters and large ones sparsely scattered between them. Scutellum smooth and nearly flat, subparallel at basal two-fifths.

Elytra with very small humeral teeth, finely striate, striae punctures fine but feebly notching intervals, which slightly convex with setigerous minute punctures in two or three rows, setae shorter and indistinct in middle.

Mesosternum coarsely and closely, metasternum very sparsely and finely punctured, the latter shining in middle, subopaque at sides, abdomen less shining, rather closely punctured with minute yellowish setae.

Basal joint of metatarsi a little shorter than the three following combined and somewhat longer than upper terminal spur of metatibiae, both spurs not same length.

Length: ca. 3.5 mm.

Holotype: ♂, Kenting Park, Pingtung Hsien, Formosa, 31. VI. 1972, K. MASUMOTO leg.

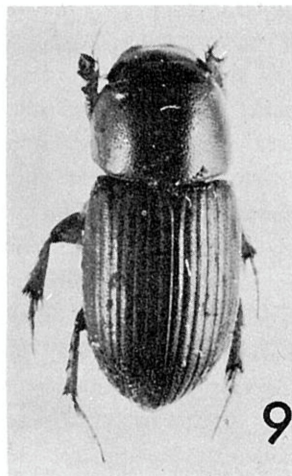


Fig. 9 *Aphodius* (*Phalacrothus*) *pseudoavunculus* sp. nov. (holotype)

This new species is somewhat related to *A. (Phalacrothous) avunculus* BALTHASAR from South India, but may be distinguished from the latter by following points: 1) The groovy punctures on the pronotum are so minute that we can scarcely notice them at low magnification. 2) The elytra are armed with small humeral teeth. 3) The elytra are covered with short setae not only at the sides and apical portion. 4) The elytral striae do not become deeper posteriorly.

3. *Rhyssemus nanshanchicus* sp. nov. (Fig. 10)

(Japanese name: Nanzankei-kokeshi-maguso-kogane)

Piceous, with outer margin of clypeus, anterior part of pronotum, legs dark reddish brown, antennae, palpi and tarsi yellowish brown. Upper surface feebly shining.

Elongate, subparallel, strongly convex. Head broader than long, subhexagonal, strongly convex forward and densely tuberculate in middle, almost vertically sloped and obsolete tuberculate in front, clypeus with subangulate each side of moderately deep median emargination, sides arcuate, genae inconspicuous and rounded, frons with rather large hump in middle, vertex with two oblique-convergent obsolete protuberances.

Pronotum 1.3 times as wide as long, approximately half as long as elytra, with sides slightly arcuate at anterior half, feebly sinuate before shallowly emarginate hind angles, entire side margin obtusely crenate, fringed with pale yellow setae, basal one usually very short opposite 3rd elytral, interval then increasingly and noticeably long opposite scutellum, forming crescent-shaped fringe, discal surface with six transverse, surface-flattened ridges, 1st along anterior margin wide but obsolete, and composed of coalescent tubercles, 2nd to 5th much more conspicuous, with surface smooth and very finely punctate, 6th less distinct with coarse and coalescent tubercles, median longitudinal furrow interrupting 4th to 6th and frequently also 2nd and 3rd ridges, 4th usually bent back along median furrow to join 6th and thus enclosing 5th between them, transverse furrow between ridges somewhat coarsely and rugosely punctate, furrow between 3rd and 4th ridges noticeably wider, laterally posterior to explanate area around anterior angles with coarsely tuberculate median swellings, front angles moderately produced and their tips narrowly rounded, front margin slightly arcuate, hind one broadly rounded with marginal groove. Scutellum small, triangular, parallel at basal half, coriaceous, slightly depressed.

Elytra convex, humeri dentate, striae deep and fine, stria punctures almost unnoticed, sutural interval slightly convex, 3rd and 5th also a little convex in posterior part, 2nd to 9th with inner-small, outer-large tubercles in rows, 10th with dentate ridge.

Prosternum and mesosternum closely punctate and finely setigerous, metasternum rugosely punctate at sides, shiny and finely punctate in rest, abdominal sternites with crenate anterior margin, and 2nd to 4th sternites with coarse serrate or zigzagged transverse median line.

First tarsal segment of hind legs a little longer than spur, slightly shorter than three followings combined.

Length: 3.5 mm.

Holotype: ♂, Nanshanchi, Nantou Hsien, Formosa, 9. VIII. 1975, K. MASUMOTO leg. allotype:

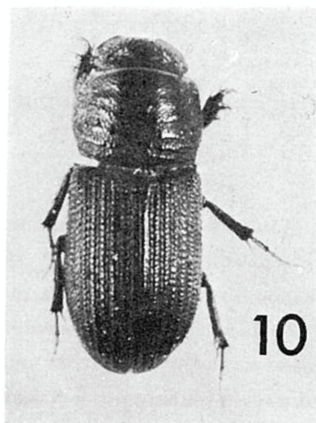


Fig. 10 *Rhyssemus nanshanchicus* sp. nov. (holotype)

♀, ditto, 22. V. 1973, paratypes: 1 ex., ditto, 9. VIII. 1975; 1 ex., ditto., 22. V. 1973

The present species is related to *R. sulcatus* (OLIVIER), but anterior three pronotal carinae are not usually interrupted by the longitudinal furrow and the 2nd to the 9th elytral intervals bear two rows of tubercles.

All holotypes may be deposited in the National Musium of Japan (Tokyo) or other apposite Musium, and paratype are in authers' collections.

III Summary

Since 1971, the author has carried out more than ten research projects on the fauna of Formosa and in particular the coprophagid-beetles in various districts there. A summary of the contents of this serial description*) is as follows:

- 1) A description of three new species and records of hitherto unreported species from Formosa.
- 2) An appraisal of present available descriptions of Formosan coprophagid-beetles as records in the past have sometimes mistakenly dealt with foreign ones as Formosan.
- 3) For easy identification, a systematic classification together with a description of their characteristics, environment, food habit and other new findings.

In writing this serial, the author received kind assistance from many entomologists and private persons and I would like to especially express my gratitude to Mr. Sizumu NOMURA, Dr. Takehiko NAKANE, Messrs. Yoshikazu MIYAKE, Masaaki ISHIDA, Kaoru SAKAI, Hajime YOKOYAMA, Kôyô AKIYAMA, Shigeo TSUYUKI, Singo NAKAMURA, Hiroyuki SAKAINO, CHU Yaoyi, CHIU Juichen, CHEN Weishou, LIN Maocheng, TU Chinlong, TU Chinming, HUANG Gang, CHEN Wenlong, and HE Mengchi, and also Mesdms. CHIU Ruichen, Mayumi IMAEDA, CHANG Hsiuhsiang, and Evelyn ANDERSON.

自從1971年以來著者曾經在台灣各地做了十數次有關甲蟲類尤其是糞蟲類的分佈及生態的研究調查。這份報告書的內容略述如下。

1. 記載在台灣發現了世界上新的三種類及記錄在台灣被首次發現的數種類。
2. 以前在台灣以外棲息的糞蟲常被誤認為是台灣產，因此著者在這裡正確地檢討及弁証有關台灣糞蟲記錄。
3. 為了使大家能夠簡單地判斷糞蟲種名，本報告記載了糞蟲之系統分類，身體特徵，生活環境，食性等。

在完成這份論文的階段中曾得到很多有關人士的幫助，其中特別是朱耀沂教授，邱瑞珍主任，陳維壽老師，及，林茂成，杜欽竜，杜欽明，黃綱，陳文竜，何孟基等各位先生，並，張秀香女士，梁燕娟小姐等々の幫忙，使這論文順利完章，著者特借此機會，向各位表示萬二分謝意。

IV 台灣産食糞コガネムシに関する主な文献(新種記載とカタログ)

- 1921 GILLET, J.J.E., Ann. Soc. Sc. Brux., 41 (*Copris* の記載)
- 1924 GILLET, J.J.E., Ann. Soc. Sc. Brux., 44 (*Onthophagus* の新種記載)
- 1927 GILLET, J.J.E., Bull. Ann. Soc. Ent. Belge. 67 (*Onthophagus* の新種記載)
- 1930 三輪 (MIWA, Y.), Ins. Mats., 4 (*Onthophagus*, *Aphodius* の新種記載)
- 1931 三輪 (MIWA, Y.), A Syst. Catal. Form. Col. (申虫のカタログ)
- 1938 松村 (MATSUMURA, M.), Ins. Mats., 12 (カタログと *Onthophagus*, *Matasha* の新種記載)

*) "A Revision of the Coprophagid-beetles from Formosa" was included in No. 1-No. 3 published in 1976, and No. 4-No. 5 in 1977 in this journal.

- 1939 三輪・中条 (MIWA & CHUJO), Catal. Coleopt. Jap. (Scarabaeidae のカタログ)
 1939 野村 (NOMURA, S.), Nippon no Kôchû, 3 (*Saprosites* の新種記載)
 1941 BALTHASAR, V., Arb. morph. taxon Ent., 8 (*Onthophagus* の新種記載)
 1942 PAULIAN, R., Bull. Soc. Ent. Fr., 58 (*Caccobius* の新種記載)
 1943 JANSSENS, A., Bull. Mus. R. Hist. Nat. Belg., 19 (*Gymnopleurus* の新種記載)
 1951 野村・中根 (NOMURA & NAKANE), Kontyû, 19 (*Aphodius* の新種記載)
 1961 PETEROVITZ, R., Ent. Arb. Mus. Frey. 12 (*Aphodius* の新種記載)
 1965 HOWDEN, Pacific Ins., 7 (*Geotrupes* 新種記載)
 1968 黒沢 (KUROSAWA, Y.), Bull. Nat. Sci. Mus. Tokyo, 11 (*Ochodaeus* の新種記載)
 1973 野村 (NOMURA, S.), Ent. Rev. Jap., 25 (*Trox*, *Bolbocerosoma*, *Phaeochroops*, *Panelus*, *Onthophagus*, *Oxyomus*, *Psammbius* の新種記載と分布の再確認された食糞コガネムシのリスト)

*) この他に加藤 (KATO, M.) 1933 の原色昆虫図鑑(上)が、台湾の糞虫をかなり図示している。

T T S の甲虫関係国内図書

"FRAGMENTA COLEOPTEROLOGICA"

No.1-21 (1961-8) =B5, 86pp. set ¥2,100 (〒320).
 @ ¥ 100 (〒120).

"FRAGMENTA COLEOPTEROLOGICA

JAPONICA" No.1-4. (1964-5) =B5, 16pp.
 日本甲虫小説 set ¥ 400 (〒120).
 @ ¥ 100 (〒120).

両誌共中根先生編集発行の甲虫専門誌で、今ならコンパクトに揃います。

Hayashi, M. A Monographic Study of the Lepturine Genus *Pidonia*, with Special Reference to the Ecological Distribution and Phylogenetical Relation. Part 1-4. (1968-72). =A5, 211pp. 29pls. 9text figs.
 "ハナカミキリ属のモノグラフ(1)~(4)"

(注文コード Re-009) ¥2,500 (〒360).

Hayashi, M. 5 papers on Cerambycidae of S.E.Asia. (1966-74). =A5, 132pp. 8 pls.

"林先生東南アジアのカミキリ別刷集"

(Re-010) ¥1,500 (〒360).

Nomura, S. 4 papers on Scarabaeidae (On the Genus *Serica* from Japan -1972 On the *Sericini* of Japan 1 & 2-1973 & 1976; On the *Sericini* of Taiwan -1974-) B5 132pp. 18pls. 14 text figs.

"ピロウドコガネ系族に関する別刷集"

(Re-006) ¥2,500 (〒360).

ご注文はハガキに署名・捺印の上お申し越し下さい。代金は図書到着後5日以内に(18才以下は保護者と連名で。)

お近くの方は小社(小田急経堂駅前)へ!

昆虫関係図書常時500タイトル以上在庫

水曜定休・平日10~19時・日曜祭日13時~17時

JCBカード加盟店 在庫リスト(〒100)

Kurosawa, Y., T. Nakane & M. Satô Check-List of Coleoptera of Japan. Ser.1.-1976-

No.1 Lucanidae; No.2 Passalidae; No.3 Cicindelidae; No.4 Nydrochidae; No.5 Georiddidae; No.6 Psephenidae & No.7 Limnichidae.

日本産甲虫目録 第1集 (No.1~7) 7冊セット(CJ-s01)
 ¥ 800 (〒120).

甲虫談話会編集・発行の目録で、各属の模式種、各種の原記載文献、模式産地、国内分布が記されています。発行部数が少ない出版物ですので発行の都度お求め下さい。

"NIPONIUS" -Acta Coleopterologica, adita a

Dr.M. Chujo. vol.1 (1959-1962). =A5, 116pp.

No. 1 ¥ 70.	No. 2 ¥ 140.	No. 3 ¥ 200.	No. 4 ¥ 200.
No. 5 ¥ 50.	No. 6 ¥ 520.	No. 7 ¥ 80.	No. 8 ¥ 70.
No. 9 ¥ 50.	No.10 ¥ 80.	No.11 ¥ 50.	No.12 ¥ 50.
No.13 ¥ 180.	No.14 ¥ 120.	No.15 ¥ 140.	No.16 ¥ 100.
No.17 ¥ 140.	No.18 ¥ 70.	No.19 ¥ 120.	No.20 ¥ 70.

Index ¥ 70.

vol.2 (1963-8). =A5, 75pp.

No. 1 ¥ 50.	No. 2 ¥ 200.	No. 3 ¥ 120.	No. 4 ¥ 70.
No. 5 ¥ 200.	No. 6 ¥ 70.	No. 7 ¥ 100.	No. 8 ¥ 180.
No.10 ¥ 70.	No.11 ¥ 240.	No.12 ¥ 80.	No.13 ¥ 70.

中条先生編集発行の甲虫専門誌です。Fragmenta 同様毎号重要論文が掲載されています。

松本むしの会 長野県のカミキリムシ B5, 212pp. 2colour.
 ¥1,500 (〒400).

昆虫洋書・地方図書は専門の小社へ

東京通販サービス社

〒156 東京・千歳郵便局私書箱33号

小田急経堂ビル12F 1221号

☎ (03)426-6012 郵便振替 東京0-73,156

Notes on Some Elaterid-Beetles from Formosa, VI¹⁾By Hitoo ÔHIRA²⁾

台湾産コムツキムシ科の知見, VI

大平仁夫

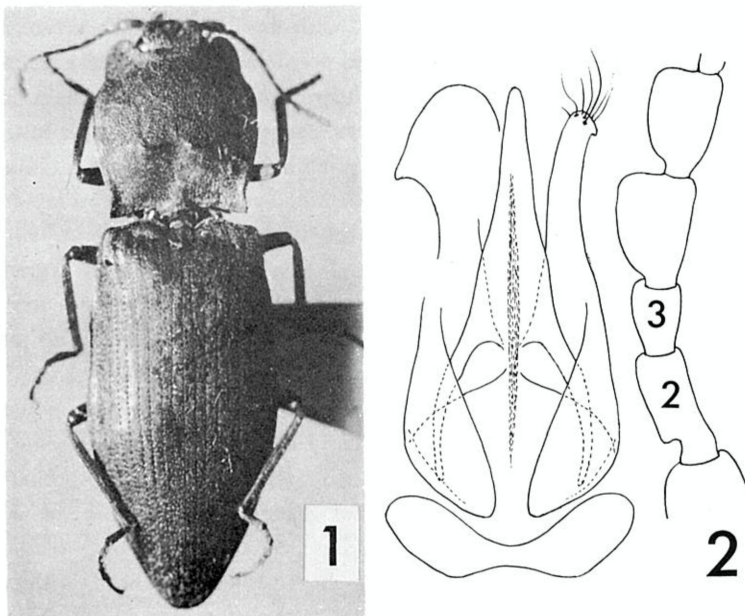
(Received Sept. 17, 1977; Accepted Sept. 29, 1977)

1. *Agrypnus (Agrypnus) polishaensis* sp. nov. (Agrypninae) (Figs. 1, 2)

(Japanese name: Polisha-sabikikori)

Male. Length 16–19 mm, breadth 5–6 mm. Body elongate, rather depressed above and a little shining; surface wholly castaneous brown, except for pronotal disc more or less darker and dark brown, clothed with short, decumbent, pale yellow scale-like setae all over and intermixed with longer, subdecumbent, fulvous scale-like setae on pronotum and elytra.

Head small, broadly and subtriangularly impressed at middle from vertex to clypeal margin; surface coarsely and rather densely punctate. Antenna of moderate length, not reaching to posterior angle of pronotum, basal segment robust and subcylindrical, second segment small and subcylindrical, third segment subclavate and clearly shorter than second one, from fourth to tenth distinctly serrate, apicalmost segment subovate, longer than preceding one. Pronotum subquadrate, distinctly longer than its breadth, widest at middle across; sides clearly sinuate just before posterior angles, weakly rounded at middle, then suddenly sinuate inwardly and gradually converging towards rounded anterior angles which are prolonged anteriorly; disc gently convex, broadly and shallowly impressed laterally, moderately densely and rather coarsely punctate, with interspaces of punctures minutely scabrous; usually having a pair of transverse ridges on posterior middle, which are

Fig. 1 *Agrypnus (Agrypnus) polishaensis* sp. nov. ♂ (holotype)Fig. 2 Aedeagus and some basal segments of male antenna of *Agrypnus (Agrypnus) polishaensis* sp. nov. (paratype)

1) V. Kontyú, 36(4): 363–368, 1968

2) Present address: Entomological Laboratory, Aichi University of Education, Kariya, Aichi (〒448)

crescent-shaped and very conspicuous; posterior angles short projecting behind and divergent, with tips bluntly truncate, each bearing a distinct carina above which is bordered on lateral margin. Scutellum tongue-shaped, flattened, more or less constricted near base, punctulate and pubescent. Elytra about 2.6 times as long as its basal breadth; sides expanded laterally and gradually dilated from base to apical third, then rounded and gradually converging towards extremities which are normally rounded; striae shallowly defined, punctures in striae small and regularly set; intervals almost flattened, irregularly punctulate.

Propleura and metasternum normal, without any tarsal concavations respectively. Legs rather slender. Aedeagus as figured.

Female. Very similar to male, but antennae a little shorter and usually bearing a smooth area in the middle of five sternite of abdomen.

Holotype: ♂, Nanshanchi, 3. IV. 1971, H. NOMURA leg. paratypes: 1♀, Nanshanchi, 3. IV. 1971. H. NOMURA leg.; 1♀, Mt. Rara, IV. 1977, K. KHO leg.; 1♂ 2♀♀, Polisha, VIII. 1975 (obtained from a native collector).

Distribution: Formosa.

This new species is somewhat allied to *Agrypnus (Agrypnus) cordicollis* (CANDÈZE, 1865) from Japan, but can be distinguished from the latter in having the larger body and unique structures of pronotum and aedeagus, etc.

2. *Camposternus guishuni* sp. nov. (Camposterninae) (Fig. 3)

(Japanese name: Taiwan-ooao-kometsuki)

Female. Length 30 mm, breadth about 9 mm. Body slender and subparallel-sided; dorsal surface glabrous and very shining with metallic lustre, head and pronotum (lateral sides broadly opaque with dull brassy tint) black with dark brassy tint, scutellum black with purple tint, elytra greenish brassy tint with rainbow colour, antennae pitchy black; ventral surface having a metallic lustre with purple tint including legs, except for propleura of prothorax opaque with dull purple lustre.

Head small, broadly and longitudinally impressed at middle; surface sparsely and irregularly punctate; eyes somewhat prominent. Antenna of moderate length, slightly shorter than posterior angle of pronotum; basal segment robust and subclavate, second segment small and subglobose, third segment depressed, subquadrate and a little shorter than fourth one, from fourth to tenth depressed and moderately serrate. Pronotum trapezoid, a little wider than its length, widest at base across; sides distinctly ridged, weakly sinuate before posterior angles, then gradually converging towards anterior angles which are obtusely pointed; disc gently convex longitudinally, sparsely and finely punctulate, but opaque areas more or less minutely scabrous; median longitudinal canaliculation only scarcely seen at basal half; posterior angles short projected behind, with tips curved inwardly and pointed apically, without carina above. Scutellum ovate, broader than its length; surface slightly depressed transversely at middle, glabrous. Elytra about 2.2 times as long as its basal breadth; sides weakly expanded laterally and almost parallel on basal half, then rounded and gradually converging towards



Fig. 3 *Camposternus guishuni* sp. nov. ♀ (holotype)

extremities which are sharply pointed posteriorly; striae very shallowly indicated in some portions, punctures in striae invisible; intervals almost flattened, irregularly punctulate and finely rugose.

Male. Unknown.

Holotype: ♀, undefined locality in Kao-Hsiung Hsien of South Formosa, 14. VIII. 1975, G. RIN leg.

Distribution: Formosa.

C. guishuni is somewhat allied to *Campsosternus rutilans* CHEVROLAT, 1841 from the Philippines, but can be distinguished from the latter in having the robuster body, tinged with brassy colour on the body beneath and lacking carina of pronotal posterior angles, also allied to *C. gemma* CANDÈZE, 1857 from China, but can be distinguished from the latter in having the shorter antennae and absence of red patches on the sides of pronotum and abdomen. The name is dedicated to the honour of Mr. Gui-shun Rin, Taiwan Forestry Research Institute, Taipei.

Acknowledgement

The author is deeply indebted to Mr. Gui-shun RIN of Formosa, Mr. T. SHIBATA of Ōsaka and Mr. Y. MIYAKE of Tokyo, Japan for their help in materials. The Holotype of each species described in this paper are deposited in the collection of Aichi University of Education.

摘 要

本稿では、台湾からの2新種を記載した。ポリシヤサビキコリは、大形の体と特徴のある前胸背板の形によって近似種とは容易に識別できるし、台湾では各地から得

られている。やや山地性の種と思われる。台湾オオアオコメツキは、林貴順氏が高雄縣の横貫公路の海拔730mの所で得られた美麗種で、1♀個体しか得られなかったが、短い触角や特徴のある前胸背板の色彩は本種独特のものと判断される。

1951年以降の台湾産カミキリの文献(2)

草間 慶一

前回では解説を日本語で行なったが、量が増えるとかえって繁雑になると思われるので、今回から以下のように略式化して解説することにする。1976年度までの文献をあと5~6回で紹介し終える予定である。

1953

- (5) BREUNING, S. "Nouvelles formes de Lamiaires (quatrième partie)"
Bull. Inst. Sci. nat. Belg., 29 (8): 1-38, 1 pl.
ssp. nov., *Glenea mounieri horiensis*, p.21
- (6) GRESSITT, J.L. "Notes on Nomenclature of Japanese Longicorn Beetles"
Ent. Rev. Jap., 6 (4): 25-29
nom. nov., *Strangalia* (s. str.) *mitonoi* GRESSITT → *S. mitonoana*, p. 28 (see HAYASHI, 1959)

1954

- (7) BREUNING, S. "Nouvelles formes de Lamiaires (sixième partie)"
Bull. Inst. Sci. nat. Belg., 30 (28): 1-23, 4 figs.
sp. nov., *Rhodopis formosanus*, p.5

1955

- (8) HEYROVSKY, L. "Zwei neue Cerambyciden Arten aus Taiwan"
 Ann. Mus. nat. hung., (N.S.), **6**: 259-261, 1 fig.
 sp. nov., *Xylotrechus kosempoensis*, p.259 fig.
 sp. nov., *Monochamus kaszabi*, p.260

1956

- (9) BREUNING, S. "Revision du genre *Glenea*"
 Ent. Arb., **7**: 1-199, 671-893
 nom. nov., *Glenea abbreviata* GRESSITT (1951)→*G. subabbreviata*, p.791
 m. nov., *G. fairanensis* PIC (1916) m. *sublineata*, p.794
- (10) BREUNING, S. "Revision of Astathini"
 Longicornia, **3**: 417-519, 18 figs.
 sp. nov., *Astathes formosana*, p.499
 m. nov., *A. formosana* m. *coeruleipennis*, p.499
- (11) HAYASHI, M. "Studies on Cerambycidae from Japan and its Adjacent Regions (III): Re-examination of Dr. KANO's Types on Cerambycidae (1)"
 Ent. Rev. Jap., **7** (1): 9-10
 comb. nov., *Molorchus (Linomius) watani* (KANO), (*Epania*), p.9
 status nov., *Epania watani immaculata* KANO→*E. immaculata*, p.10

1957

- (12) BREUNING, S. "Revision du genre *Obereopsis* CHEVRL."
 Indian For. Rec. (N.S.) Ent., **9**: 17-122, 8 figs.
 comb. nov., *Obereopsis kankauens* (SCHWARZER) (*Nupserha*), p.93
 m. nov., *Obereopsis kankauens* m. *immaculata*, p.93
 m. nov., *Obereopsis kankauens* m. *unimaculicollis*, p.93
- (13) HAYASHI, M. "Studies on Cerambycidae from Japan and its Adjacent Regions (VII)"
 Akitu, **6**: 37-41
 gen. nov., *Formosopyrrhona*, p.37
 comb. nov., *F. cinnabarina* (GRESSITT), p.38 (see HAYASHI, 1974)
- (14) CHANG, S.C. "The Curious Longicorn Beetles fo Taiwan" No. 1
 J. Agr. and Forestry, **11**: 1-10, 1 pl.
Necydalis esakii MIWA et MITONO, ♀, pl.

1959

- (15) HAYASHI, M. "Studies on Cerambycidae from Japan and its Adjacent Regions (X)"
 Ent. Rev. Jap., **10** (2): 55-63
 comb. nov., *Pygostrangalia sozanensis* (MITONO) (*Strangalia contracta* ssp.) p.61
 comb. nov., *Mimostrangalia kappanensis* (KANO) (*Strangalia*), p.61
 syn. nov., *Strangalia mitonoana* GRESSITT→*M. kappanensis*, p.61
 syn. nov., *Microestola*→*Cylindilla*, p.63 note
- (16) HAYASHI, M. "The Cerambycidae of Japan (Col.) 3"
 Ent. Rev. Jap., **10** (2): 63-70
 new record, *Philus antennatus* (GYLLENHAL), p.64 note

1960

- (17) BREUNING, S. "Catalogue des Lamiaires du Monde"
 3 Lieferung (1 Juli 1960) 109-182, Apomecynini: 116-182

(1960年度次回へ続く)

日本産ニセリソゴカミキリ属2種の再検討

草間 慶一・多比良 嘉晃

A Revision of Two Species of Genus *Eumecocera* from Japan (Coleoptera, Cerambycidae)

By Keiichi KUSAMA and Yoshiaki TAHIRA

(Received and Accepted Sept. 29, 1977)

1884年, BATES は G. LEWIS が Higo (肥後) において採集した標本に基づき *Stenostola anomala* を記載した。その後 GRESSITT (1935) が長野県軽井沢, 岐阜? を原産地として *Phytoecia gleneoides* シラホシキクスイカミキリを記載したが, 神谷・大林ら (1937) によって, *P. gleneoides* は *S. anomala* の synonym とされ, GRESSITT の用いた和名だけがそのまま使用された。大林 (1958) はさらに, 前胸腹板突起が後方で肥大し前基節孔が後方にわずかに開き, 各付節の爪は必ずしも付属物をもつ, 後付節第1節は続く2節の和より明らかに長いとして, *anomala* を *Stenostola* 属から *Eumecocera* 属に移し, 今日に至っている。

筆者らは九州産(福岡県福智山, 同障子岳, 佐賀県経ヶ岳)の標本と, 本州産(群馬県浅間高原, 群馬県奥日光, 山梨県富士山)の標本を比較検討した結果, *Eumecocera gleneoides* (= *P. gleneoides*) は独立種であって, *E. anomala* の synonym ではないという見解に達した。

Eumecocera gleneoides (GRESSITT)

Phytoecia gleneoides GRESSITT, 1935, Kontyū, 9 (4): 177

Stenostola gleneoides, KAMIYA & OHBAYASHI, Nippon no Kōchū, 1 (1): 44

Eumecocera anomala, OHBAYASHI, 1958, Ent. Rev. Japan, 9 (2): 64

Eumecocera anomala (BATES)

Stenostola anomala BATES, 1884, Linn. Soc. Journ. Zool., 18: 259

Eumecocera anomala, OHBAYASHI, 1958, Ent. Rev. Japan, 9 (2): 64

上記2種は以下の検索表で明瞭に区別できる。

1. 前胸背には中央および両側に3本の白色毛縦条を有し, 両側

の2本ははるかに前縁に達しない。鞘翅は暗赤褐色, 後方1/4以下は多少とも黒ずむが, 時に全体赤褐色になる個体もある。表面には黄金色微毛をやや粗に装う。通常2対ないし3対の白色毛円形紋を中央後半に有するが, 変化があり, まったくもない個体もあるという。点刻はやや大きく粗, 白色を帯びた構造的な2対の縦条が前縁から翅端近くまで明らかに認められる。

分布: 本州, 四国? *gleneoides* (Fig. 1)

一. 前胸背には中央および両側に3本の白色毛縦条を有し, 両側の2本は基部から前縁に達する。鞘翅は全体黄褐色, 表面には黄金色微毛をやや密に装う。白色紋はまったく有しない。点刻はやや小さく密, 構造的な縦条は認められない。

分布: 九州 *anomala* (Fig. 2)

現在, 神谷・大林 (1937) に従い “シラホシキクスイカミキリ” なる和名を真の *anomala* に対しても使用しているが, 真の *anomala* が白色円形紋をまったく有しない点を考えると, 明らかに不相当である。従って, *anomala* に対しては和名新称として “キバネニセリソゴカミキリ” を与え, *gleneoides* に原記載通りの “シラホシキクスイカミキリ” を適用する。

本文を草するにあたり, 貴重な標本を御恵与下さった山脇好之, 西田光康, 多比良嘉信, 服部仁および加藤晃諸氏に厚く御礼申し上げる。

検視標本

E. gleneoides (GRESSITT) — 1 ♀, 群馬県浅間高原栗平, 3. VII. 1954, 服部仁採集; 1 ♂, 群馬県浅間高原栗平, 6. VII. 1954, 加藤晃採集; 3 ♂♂ 2 ♀♀, 群馬県奥日光建設平, 13 & 20. VII. 1967, 草間採集; 1 ♂ 1 ♀, 山梨県富士山大室山, 1. VI. 1977, 多比良採集

E. anomala (BATES) — 1 ♂ 1 ♀, 福岡県福智山, 21 & 29. V. 1949, 山脇好之採集; 2 ♂♂, 福岡県障子岳, 28. V. 1972, 西田光康採集; 1 ♂, 佐賀県経ヶ岳, 10.

Ⅵ. 1973, 多比良採集; 1 ♀, 佐賀県経ヶ岳(枯材採集),
25. Ⅳ. 1974(脱出, 佐賀県佐賀市), 多比良採集; 2 ♀♀,

佐賀県経ヶ岳(ウメの枯材採集), 3&8. Ⅴ. 1974 (脱出,
佐賀県佐賀市), 多比良嘉信採集

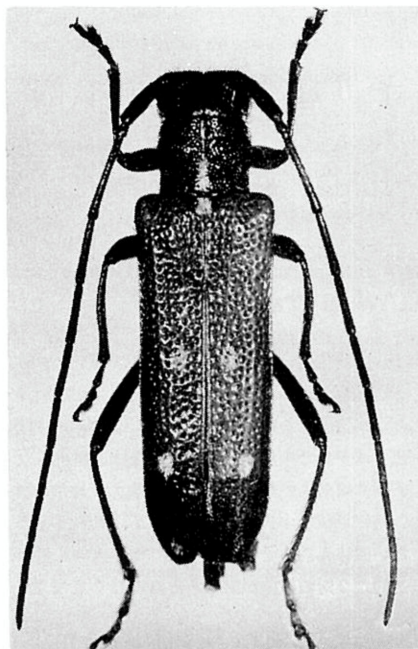


Fig. 1 *Eumecocera gleneoides* (GRESSITT)

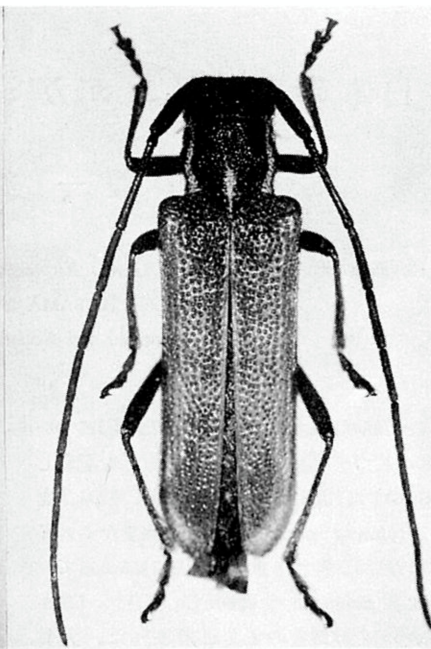


Fig. 2 *E. anomala* (BATES)

Summary

Eumecocera gleneoides (GRESSITT) is a distinct species and not a synonym of *E. anomala* (BATES). Since the former was synonymized to the latter by KAMIYA and OHBAYASHI, everybody has followed it, but the two species are easily distinguished by the following key;

1. Prothorax with three white longitudinal stripes at middle and each side, lateral two stripes from posterior margin to middle, not reached anterior margin. Elytron with coarse and rather sparse punctation, and two structural longitudinal costae from humeral portion to apex, chestnut brown with the apical quarter obliquely darker, sometimes entirely reddish brown, with three white pubescent spots just behind middle, apical 1/3, and apex usually.

Distribution: Honshu and Shikoku? *gleneoides* (Fig. 1)

- Prothorax with three white longitudinal stripes at middle and each side, lateral two stripes from posterior to anterior margin. Elytron with rather fine and close punctation, with no costae, entirely yellowish brown, with no white pubescent spots.

Distribution: Kyushu *anomala* (Fig. 2)

The authors give a new Japanese name "Kibane-nise-ringō-kamikiri" to *E. anomala* (BATES), while a previous name "Shirahoshi-kikusui-kamikiri" to *E. gleneoides* (GRESSITT).

The Genus *Exocentrus* MULSANT of Japan and its Adjacent Regions: (1) Notes on a New Species

By Keiichi KUSAMA* and Yoshiaki TAHIRA*

日本およびその近隣のアラゲケシカミキリ属: (1) 1新種の記載

草間 慶一・多比良 嘉晃

(Received and Accepted Sept. 29, 1977)

Exocentrus (*Exocentrus*) *montilineatus*, sp. nov. (Fig. 1~4)

(Japanese name: Miyama-keshi-kamikiri)

Exocentrus sp.: YAMAWAKI, 1976, Kita-Kyushu no Konchu, 22: 73; ADACHI, 1977,
ibid., 23: 61.; OGASAWARA, 1977, Gekkan-Mushi, No. 74: 27

Male—Integument dark reddish brown to pitchy brown, vertex, occiput and temple pitchy, mouthparts and gula reddish brown to testaceous; wholly clothed with thin pale pubescence; vertex and occiput with a few erect pitchy brown hairs, frons with many, labrum with a transverse linear ones; pronotum darker, with a few hairs on surrounding margins; antennae reddish brown, scape and apical half of following segments slightly darker, undersides fringed with long hairs; elytron furnished with five pale stripes constituted rather long and thick pubescence, counting from sutural side, first to fourth stripes lined from near basal portion to apical 1/3, fifth stripe disrupted at middle, and sometimes first stripe obscure, apical portion refurnished subtriangularly with pale pubescence, elytron also with eight longitudinal rows of blackish bristles arranged from base to apex, except sixth row started before middle of elytron; legs reddish brown, middle of femura slightly darker, clothed with rather short bristles sparsely; lateral margins of each abdominal sternite and posterior margin of fifth sternite clothed with long pale hairs (Fig. 2).

Head a little broader than anterior margin of prothorax, but much narrower than middle, granulated irregularly; frons about 1.2 times as broad as deep, surface weakly convex; vertex to occiput broadly concave; inferior eye-lobe about 1.2 times as deep as broad, and 2.4 times as deep as gena below it. Antennae about 1.3 times as long as body, scape subcylindrical, more than 3 times as long as broad; ratio of segments as follows—3.9 : 1.0 : 3.3 : 3.4 : 3.0 : 2.7 : 2.6 : 2.3 : 2.3 : 2.0 : 2.2 (holotype). Prothorax about 2/3 as long as broad, side convex with a acute tubercle at middle, tubercle pointed moderately backward and rather upward, discfinely granular. Scutellum rounded triangular. Elytra about twice as long as broad, breadth at base about 1.2 times as broad as prothorax at middle, apical 1/3 rounded to apex, punctures sparse and irregular, but subseriate near lateral sides. Femura clavate, first hind tarsal segments subequal to following two united together, and second subequal to third ones in length.

Length: 4.0–5.7 mm, breadth: 1.4–2.0 mm.

* Present address: Institute of Biology, Faculty of Science, Shizuoka University, Oya, Shizuoka City (〒422)

Female—Last abdominal sternite concaved subtriangularly at apex, and furnished with a black longitudinal furrow (Fig. 3).

Length: 4.4–6.5 mm, breadth: 1.5–2.2 mm.

Type-series: Holotype, ♂, Nokomi, Kashima City (altitude ca. 500–650 m), Saga Prefecture, Kyushu, 3 June, 1973, leg. Y. TAHIRA. paratypes, 2♂♂3♀♀, 3 June, 1♀, 10 June, 1♂3♀♀, 24 June, 1973; 1♂4♀♀, 24 July, 1♀, 27 July, 1976, same locality as the holotype, leg. Y. TAHIRA.

The holotype and paratypes are deposited in the National Science Museum of Japan, Tokyo. Paratypes are also in the authors' private collections.

Host plant: One of host plants is *Carpinus tschibidkii* MAXIM.

This new species very closely allied to *E. (Exocentrus) testudineus* MATSUSHITA¹⁾, and also similar to *E. (Exocentrus) lineatus* BATES²⁾ in elytral pattern. These three species are able to distinguished by the following key:

1. Body rather broad. Prothorax tuberculated behind middle of each side, tubercle pointed almost backward and not upward (Fig. 6). Elytron with nine bristle rows and the sixth bristle row started from base of elytron to apex. *lineatus* (Fig. 6)
- Body rather slender. Prothorax tuberculated just at middle, tubercle pointed moderately backward and rather upward (Fig. 4, 5). Elytron with eight bristle rows and the sixth one started before middle of elytron to apex. 2
2. Elytra with each five pale pubescent stripes longitudinally. *montilineatus* (Fig. 4)
- Elytra with testudineous patterns of pale pubescence *testudineus* (Fig. 5)

Distribution and Discussion

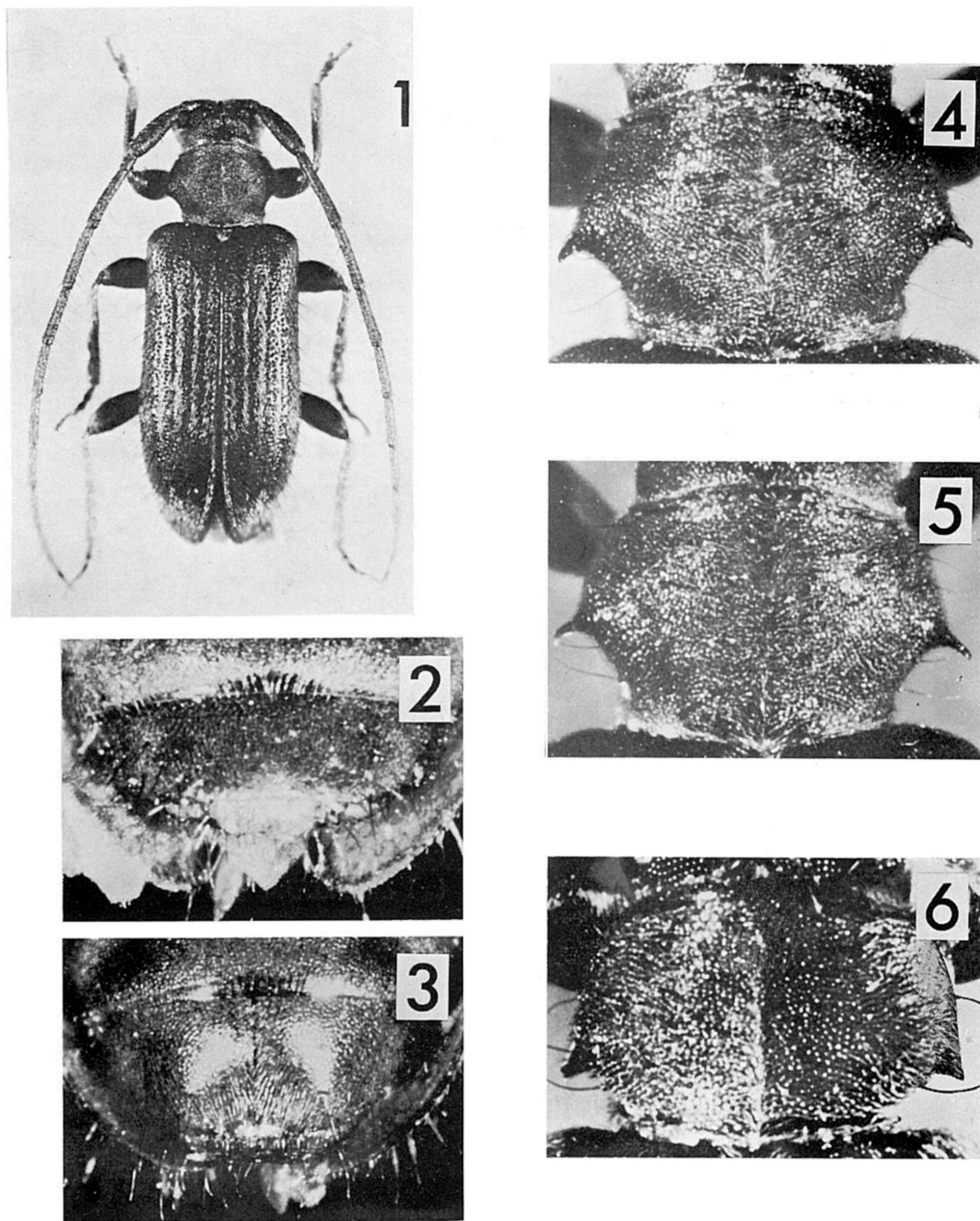
In addition to the type locality, Kashima City, Saga Pref. (Fig. 7-a), this new species is also collected at the following places: Mt. Shoji, Fukuoka Pref., 1♂2♀♀, 11 June, 1972, leg. M. NISHIDA (Fig. 7-b); Mt. Kuju, Oita Pref., 1♀, 11 July 1971, leg. M. NISHIDA (Fig. 7-c); Mt. Shirowa, Miyazaki Pref., 1 ex., 1 Aug., 1976, leg. K. ADACHI (Fig. 7-d); Shiratani, Yaku Island, Kagoshima Pref., 3♂♂2♀♀, 14 July, 1973, leg. H. IRIE (Fig. 7-e) (all in Kyushu). Mt. Tsurugi, Tokushima Pref., 1♀, 11 Aug., 1973 leg. H. FUJITA (Fig. 7-f); Mt. Kuishi, Kochi Pref., 2♂♂1♀, 14 July, 1973, leg. T. OGASAWARA (Fig. 7-g) (both in Shikoku). The altitude the places mentioned are all above 500 m.

E. lineatus inhabits from coast to high mountain districts and is collected together with *E. montilineatus* at the same mountainous places.

E. testudineus is distributed in Hokkaido, Honshu and Tsushima Islands, not in Shikoku and Kyūshū where *E. montilineatus* inhabits. Moreover it is closely allied to the new species except elytral marking. Concerning these two points, the authors suppose that *E. montilineatus* may be a substitutive species of *E. testudineus*.

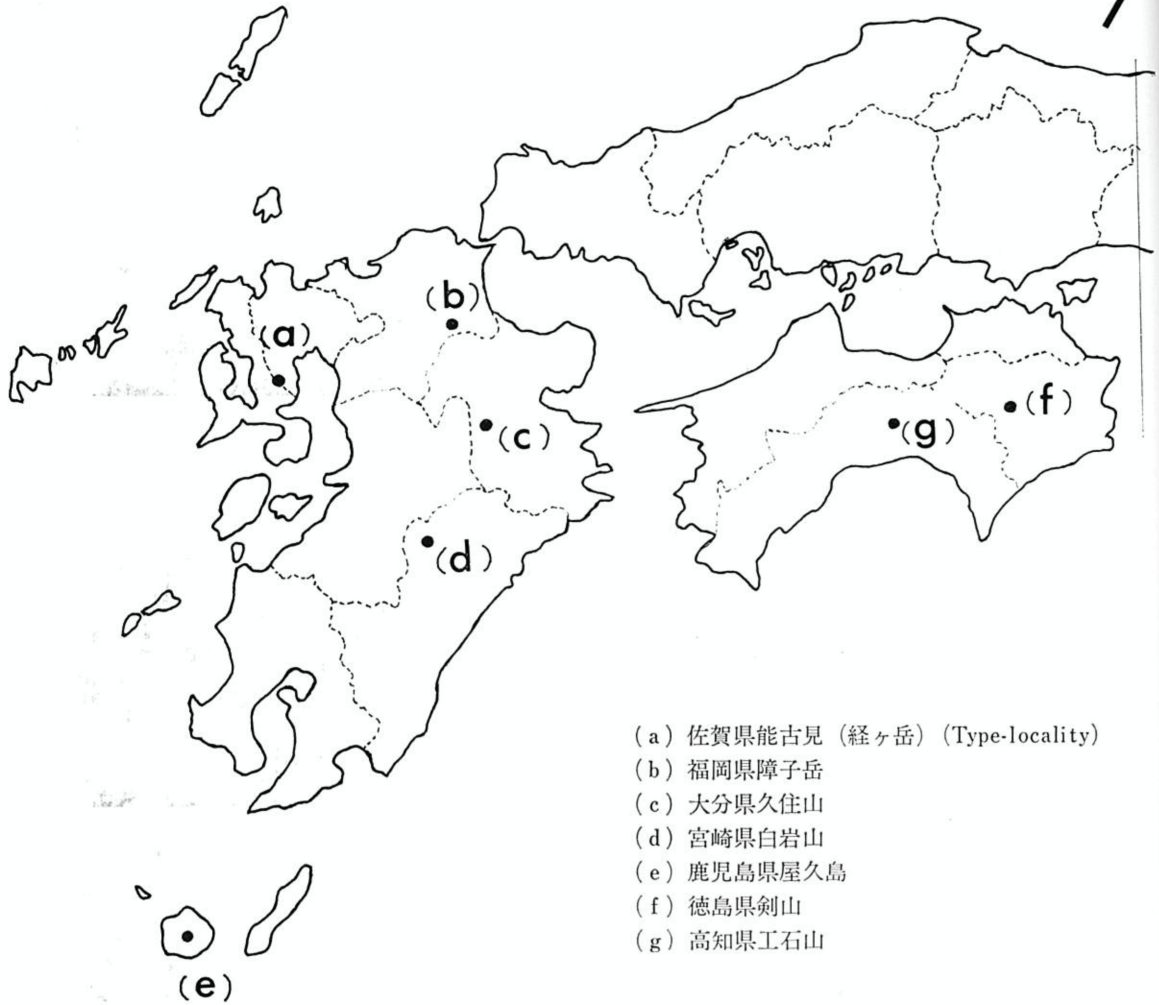
Acknowledgements

The authors wish to express their gratitude to Messrs. Yoshiyuki YAMAWAKI and Jirō KOMIYA for their useful advice and also to Messrs. Heikichi IRIE, Kazuhiro TAKAHASHI Mitsuyasu NISHIDA, Takashi OGASAWARA and Hiroshi FUJITA for their kind help in obtaining the valuable specimens used in this study.



Explanation of Plate 2

- Fig. 1 *Exocentrus* (*Exocentrus*) *montilineatus*. sp. nov., ♂, holotype.
Fig. 2 ditto, ♂, fifth abdominal sternite.
Fig. 3 ditto, ♀, fifth abdominal sternite.
Fig. 4 ditto, ♂, prothorax.
Fig. 5 *Exocentrus* (*Exocentrus*) *testudineus* MATSUSHITA, ♂, prothorax.
Fig. 6 *Exocentrus* (*Exocentrus*) *lineatus* BATES, ♂, prothorax.



- (a) 佐賀県能古見 (経ヶ岳) (Type-locality)
- (b) 福岡県障子岳
- (c) 大分県久住山
- (d) 宮崎県白岩山
- (e) 鹿児島県屋久島
- (f) 徳島県剣山
- (g) 高知県工石山

Fig. 7 Distribution map of *E. montilineatus*.

摘要

新種 *Exocentrus montilineatus* (ミヤマケンカミキリ) の記載 (Figs. 1~4)。

従来、アトモンマルケンカミキリ *E. lineatus* BATES と混同されていたが、前胸側縁の突起が側縁中央から突出し、斜め後方かつやや上方を向く。鞘翅後半の暗赤褐色横帯の前方で5対の灰白色縦条が互いに連絡することはない。鞘翅剛毛列は8列からなり第6列は中央前から

後方へ伸びるなどの諸点で明らかに区別できる。

形態的にキッコウモンケンカミキリ *E. testudineus* MATSUSHITA にきわめて近縁で、鞘翅の灰白色微毛による斑紋が異なる以外は明瞭な区別点は見当たらない。

現在まで四国および九州(屋久島を含む)に分布することが判明しているが、そのいずれの地にも *testudineus* の分布を聞かないので、両種が構造的にきわめて近縁であることを考え合わせると、本新種は *testudineus* の置換種ではないかと思われる。

References

- 1) MATSUSHITA, M. (1931): Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc., 12 (1): 47
- 2) BATES, H.W. (1873): Ann. Mag. Nat. Hist., (4) 12: 384
- 3) YAMAWAKI, Y. (1976): Kita-Kyushu no Konchu, 22: 73
- 4) ADACHI, K. (1977): Kita-Kyushu no Konchu, 23: 55
- 5) OGASAWARA, T. (1977): Gekkan-Mushi, No. 74: 27

稿 KŌCHŪ 虫

ムモンズジバネゴミムシの記録

深町 宗通

ムモンズジバネゴミムシ *Heteroglossa formosana* (JEDLIČKA) は本邦ではトカラ列島宝島における記録が知られているのみで、その他の地域では、分布の可能性の強い他の南西諸島を含めても、記録されていないようである。筆者は佐賀県白石町の有明において、本種を採集しているので報告しておきたい。

10 exs., 佐賀県杵臼郡白石町有明干拓, 5. vi. 1976
2 exs., 同上, 10. X. 1976
(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

三宅島における

キボシアトキリゴミムシの記録

深町 宗通

キボシアトキリゴミムシ *Anomotarus stigmula* (CHAUDOIR) は本邦では、本州・四国・九州 (いずれも沿岸地帯)・対馬 (未発表)・薩南諸島・八重山諸島 (石垣島) で採集されているが、伊豆諸島からはまだ記録がないようである。筆者は次の標本を所持している。

2 exs., 三宅島鵜ヶ浜, 12. V. 1975, 守屋健次採集
末筆ながら、標本を恵与された守屋健次氏、および文献の手配の労をいただいた藤田宏氏に深謝したい。

参考文献

A. HABU (1967): Fauna Japonica, Carabidae Truncatipennes Group

渡辺・相馬(1968): 農学集報, 17 (1)
(〒845 佐賀県小城郡小城町二瀬川)

シリグロナカボソタママムシの

福島県における記録

矢田 秀雄

シリグロナカボソタママムシ *Coraeus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は採集例の少ない種で、北海道(札幌)および本州の新潟・山梨・和歌山各県下より記録されているが、タイプ標本を含めても計5頭が採集されているにすぎない。筆者は本種を福島県下で採集しているので報告しておきたい。

1 ♀, 福島県南会津郡湯の花, 2. vii. 1977

鱒沢のチップ工場で、シナノキカブナと思われる直径20cm位の伐採木に静止していたものである。

なお、本種の同定は藤田宏氏にお願いした。

(〒174 板橋区坂下 1-4-12 オリエンタル寮)

ナガハムシ亜科6種の記録

今坂 正一

日本産ナガハムシ亜科(Zeugophorinae)は、大野¹⁾によると1属11種が知られているが、このうち、比較的普通なワモンナガハムシを除くと、ほとんどの種が珍しいものようであるので、現在筆者の手元にある6種について記録を書いておく。貴重な標本を恵与された、江本健一、小倉直樹、三陰外茂治、山地治、渡辺昭彦の各位に厚く感謝申し上げる。

1. ムナグロナガハムシ

Zeugophora (Pedrillia) nigricollis (JACOBY)

1 ex., 長野県蓼科白樺高原, 11. vii. 1976, 江本健一採集; 1 ex., 石川県白山, 17. iv. 1973, 三陰外茂治採集; 1 ex., 岡山県上斉原三ヶ上岳, 31. v. 1972, 山地治採集

従来、長野県などの中部高地および四国で得られている。岡山の記録はかなり面白いものと思われる。

2. キイロナガハムシ

Z. (P.) gracilis unicolor (CHŪJŌ)

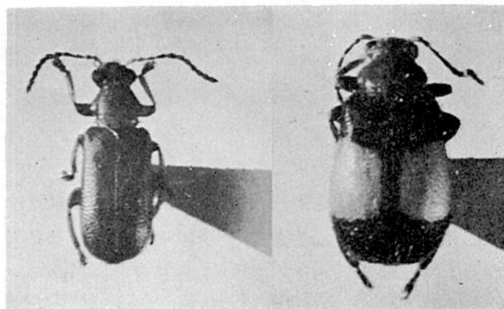
1 ex., 沖縄本島与那演習林, 10. vi. 1975, 小倉直樹採集

中条²⁾により1958年に記載されたが、その後の採集例は報告されていないようである。本種は次種アカイロナガハムシによく似ているが、より細く、触角は長く、前・中・後肢とも赤褐色で、次種のように中・後肢の一部が黒くなることはない。(写真左)

3. アカイロナガハムシ

Z. (P.) varipes (JACOBY)

1 ex., 長崎県雲仙岳, 26. viii. 1975, 筆者採集
次種ワモンナガハムシについて個体数が多く、分布も広い。本州・四国・九州に分布する。



4. ワモンナガハムシ

Z. (P.) amulata (BALY)

1 ex., 群馬県武尊山, 10. vii. 1972; 1 ex., 群馬県大尻沼, 16. vii. 1972; 1 ex., 岐阜県平湯, 31. v. 1972; 1 ex., 鳥取県伯耆大山, 17. vi. 1971; 1 ex., 長崎県雲仙岳, 26. iv. 1976; 4 exs., 長崎県雲仙岳, 16. viii. 1977; 5 exs., 長崎県島原市眉山, 9. viii. 1976; 以上筆者採集; 1 ex., 徳島県剣山, 29. vii. 1969, 渡辺昭彦採集

北海道より九州までの温帯林～暖帯林帯上部で得られる。長崎県においては、島原市眉山および雲仙岳で4～8月に得られるが、特に雲仙岳では非常に多い。

5. モンキナガハムシ

Z. (P.) flavonotata (CHŪJŌ)

1 ex., 石垣島オモト岳, 2. iv. 1973, 三陰外茂治採集 石垣・西表両島で少数の個体が得られている。前胸は赤褐色。上翅は黒色で、黄白色の幅広い紋をもち、本亜科の種の中では最も美しい色彩をしている。(写真右)

6. オビモンナガハムシ

Z. (P.) unifasciata (JACOBY)

1 ex., 宮崎県青井岳, 7. viii. 1974, 三陰外茂治採集 従来, 本州・四国から得られていた。九州よりは初めての記録と思われる。

- 1) 大野正男(1971): 東洋大学紀要, (13), pp. 31～126
- 2) M. CHŪJŌ (1958): Kagawa Univ. Mem. Fac. Lib. Arts & Educ., 2 (64)
- 3) S. KIMOTO (1964): Kyūshū Univ. J. Fac. Agr., 13 (1)
- 4) S. KIMOTO & L. GRESSITT (1966): Pac. Ins., 8 (2), pp. 467～577

(〒855 島原市白土町1064)

福島県いわき市のカミキリ6種

大桃 定洋

筆者は、福島県いわき市において、興味深いと思われる次の6種のカミキリを採集したので報告する。

1. オオハナカミキリ

Anoplodera (Konoa) granulate (BATES)

1 ♀, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。同地は標高200～250mの所で、従来中山帯から記録されていた本種が、このような低山地から得られたことは興味深い。また、同時に採集されたヒメアカハナカミキリ(2♂♂ 2♀♀)についても、同様のことがいえよう。

2. タケウチホソハナカミキリ

Strangalia (Sulcatostrangalia) takeuchii

MATSUSHITA et TAMANUKI

1 ♂, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。北海道産の個体と比較すると、かなり大型で、上翅の黄色部も広く、紀伊半島産の個体に近い。本種は、北海道から九州まで全国的に産するとはいうものの、本州における産地は限られており、富士山、南アルプス、段戸山、紀伊半島などが知られているだけで、関東地方から東北地方にかけてはまったく知られていなかった。本記録はこの空白を埋めるもので、将来、北上山地などからも、記録される可能性を示唆しているものと思われる。(写真左)

3. クロトラカミキリ

Chlorophorus diadema kurotora HAYASHI

2 exs., いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。本個体はいずれも、従来福島県下で得られている ssp. *inhirsutus*¹⁾ とは異なり、微毛が黄灰色で、前胸の黒紋も大きく、西南日本亜種と思われる。

4. タキグチモモブトホソカミキリ

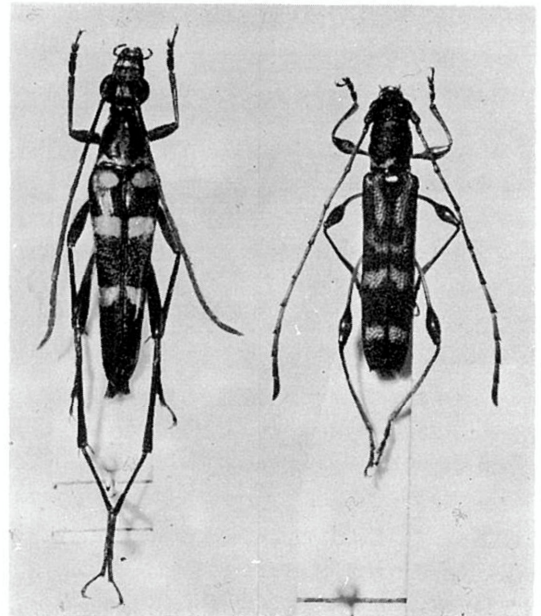
Cleomenes takiguchii OHBAYASHI

1 ♂, いわき市江田, 20. vii. 1977

ノリウツギの花に飛来した。本種の東日本における既産地は、東京都下奥多摩・伊豆半島猫越で、本記録は北限を示すものと思われる。(写真右)

5. ゴインモモブトカミキリ

Callapoecus guttatus BATES



1♂, いわき市江田, 19. V. 1977

ソダのビーティングで得た。時期的にも早く、面白い記録と思われる。福島県初記録種。

6. ブロウニングカミキリ

Saperda (Saperda) breuningi OHBAYASHI

1♂, いわき市江田, 19. V. 1977

オニグルミの葉上から得た。中山帯で採集される種で、このような低山地から得られたことは興味深い。

なお、筆者は先に、いわき市周辺で採集したタマムシやハナノミの記録²⁾から、同地には南方系(西南日本分布型)の興味ある昆虫が分布する可能性が充分にあることを指摘した。本報告は、これを実証したものであり、同地にはかなり南方系の昆虫が分布しているものと考えられる。さらに、オオハナヤブロウニングなどの例にみられるように、いわゆる山地性の種も多く、平地~低山帯でありながら、いわき市周辺の昆虫相は複雑で、今後の調査に大いに興味もたれる。

1) 田添京二・大桃定洋(1977): さやばね, No. 3, p.37

2) 大桃定洋(1976): ELYTRA, 4(2), pp. 35~36

(〒167 杉並区西荻窪北 3-22-15 西荻コーポラス202)

岩手県早池峰山麓で

トウホクトラカミキリを採集

武智 昭一

トウホクトラカミキリ *Chlorophorus tohokensis* HAYASHI は、1950年に青森県十和田で採集された1♀により記載されて以来、しばらくの間採集例を聞かなかったが、最近、青森県津軽半島の小泊で1♂(阿部・高桑, 1974)*, 同県十和田で1ex., (水野, 1976)**)と2頭の採集例が追加されている。

筆者は岩手県下の早池峰山麓で本種を採集しているので、報告しておく。今までは青森県下のみより記録されていたが、これで東北地方の他県にも分布している可能性が大きくなったと思われる。

1♂, 岩手県下閉伊郡川井村葛部沢^{くすべさわ}, 6. viii. 1977

採集場所は早池峰山麓の平津戸から、閉伊川を隔てた葛部沢上流の伐採地である。標高600~700m程度、周囲はブナ・ミズナラを主とした広葉樹林で、本種は土場にあった直径15cmほどのミズナラ伐採木の樹皮のめくれた先端部に飛来した。採集時刻は午後1時30分、晴天で土場における他のカミキリとしては、クビアカトラ・ツマキトラ・ホソトラ・クロトラなどが多く、クロトラは西南日本亜種と思われる個体で興味深い。

本種は斑紋のよく似ているホソトラと比べると、一見して、前胸がはるかに幅広く短いこと、前胸背にまった

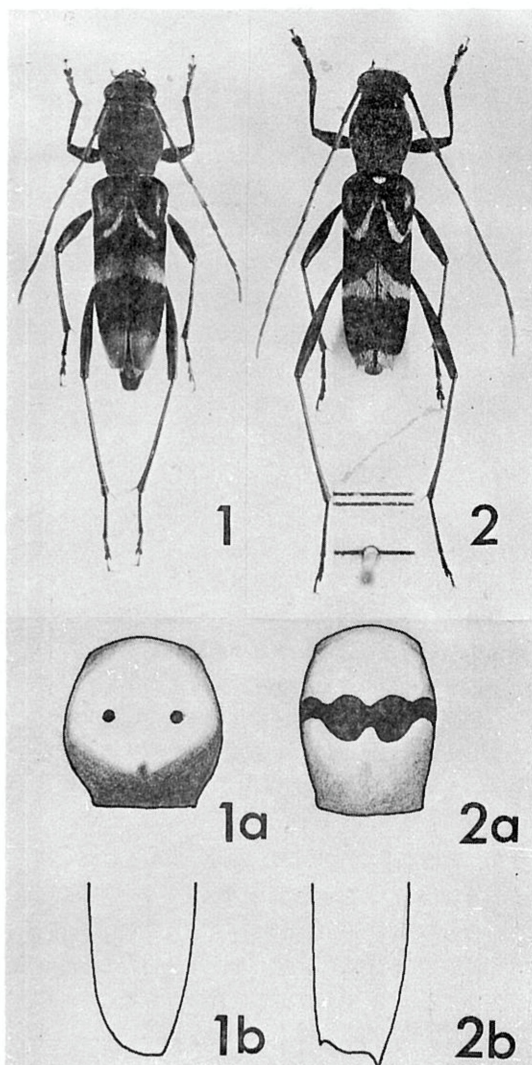


写真1 トウホクトラカミキリ, ♂

1 a 同, 前胸背 1 b 同, 右上翅翅端

写真2 ホソトラカミキリ, ♂

2 a 同, 前胸背 2 b 同, 右上翅翅端

くつながらない小さな黒紋をもつこと(写真ではよくわからないので、図を付する)、上翅の斑紋が異なること、上翅翅端がとがらないこと、足・触角がはるかに短いことなどの諸点で容易に区別することができる。上記の写真(いずれも♂)を比較参照していただければ、その差異が明らかになると思われる。

本種の同定、および種々御教示いただいた藤田宏氏に御礼申し上げる。

* 阿部・高桑(1974): 甲虫ニュース, Nos. 23/24, p.10

** 水野(1976): 月刊むし, 64号, pp. 29~30

(〒190-01 東京都西多摩郡日の出町 2196-484)

西表島でクビアカモモトホソカミキリ

のびを採集
堤 隆文

クビアカモモトホソカミキリ *Kurarua rhopalophoroides* HAYASHI は最近、郷(1977)*によりカミキリムシ科唯一の雌性単為生殖を営む種であることが確認されて話題を呼んでいる種である。しかし、これは本州(奈良・岡山県下)における生態で、西表島から1例が知られていた本種は、かなり離れた南の島嶼であることより、同様の生殖を行なっているかどうか不明であった。

筆者は1977年3月に西表島にて、今まで未知であった本種ののびを採集した。また、同じ頃同地で他にもいくつかののびおよび♀が得られていることから考えると、少なくとも本種は西表島では両性生殖を営んでいるものと思われる。

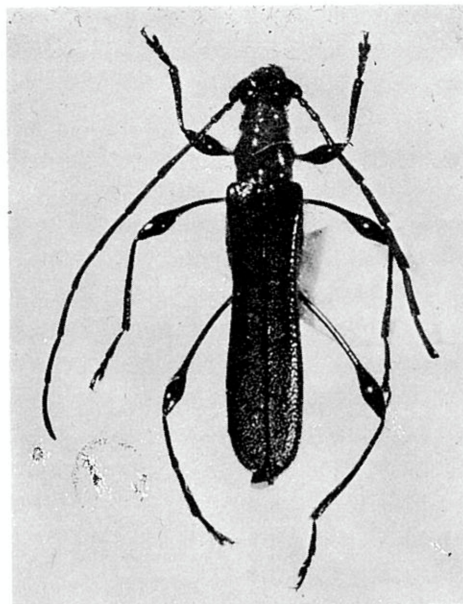
単為生殖を行なっていることに加え、ヤサイゾウムシなどのように場所によって生殖の様式が異なっていることは、従来、カミキリムシ科では知られていなかったことであり、本種はこの科の中できわめて興味深い存在であるといえよう。

採集データは次のとおり。

1♂, 西表島千立, 26. III. 1977, 堤隆文採集

夕方6:00頃, 千立部落内の花上(樹種不明)にて採集したものである。

本州産の♀と比較して、体がやや細長いこと、足・触角が長いことなど、♂♀による性徴の差と考えられる差



異をのぞけば、きわめてよく似ており、また、九州大学農学部昆虫学教室にある西表島産の♀(1964年に採集された最初の個体)が本州の♀とまるで変わらないことより、西表島の *Kurarua* は、*rhopalophoroides* そのものであると考える。今後、西表島産の本種の詳しい生態が判明することを期待したい。

最後に発表を勧めて下さった藤田宏氏、および写真を撮って下さった高桑正敏氏に深く感謝する。

* T. GOH (1977): ELYTRA, 5 (1), pp. 13~16

(〒903 那覇市首里当蔵町 3-1

琉球大学昆虫学教室内)

編集後記

今回は(も)アクシデントが重なりまくって、悲惨な日々を過してしまいました。1度、ゆったりと余裕のある編集をしたい! という「夢」はあるのですが……これは私ばかりでなく、“本をつくる”という世界そのものの風習のようでもあります。

どうも編集者というのは、非常事態=常態という感覚で受けとめ、対処するぐらいの神経でなくてはつとまらないようです。

次の ELYTRA Vol. 6 No. 1 は来年3月に発行する予定です。原稿をお待ちしています。

(1977年10月20日, 藤田 宏)

ELYTRA Vol. 5, No. 2

昭和52年11月15日 印刷

昭和52年11月20日 発行

編集者 藤田 宏

発行者 草間 慶一

発行所 日本鞘翅目学会

Japanese Society
of Coleopterology

東京都台東区東上野4-26-8

福田惣一方 (〒110)

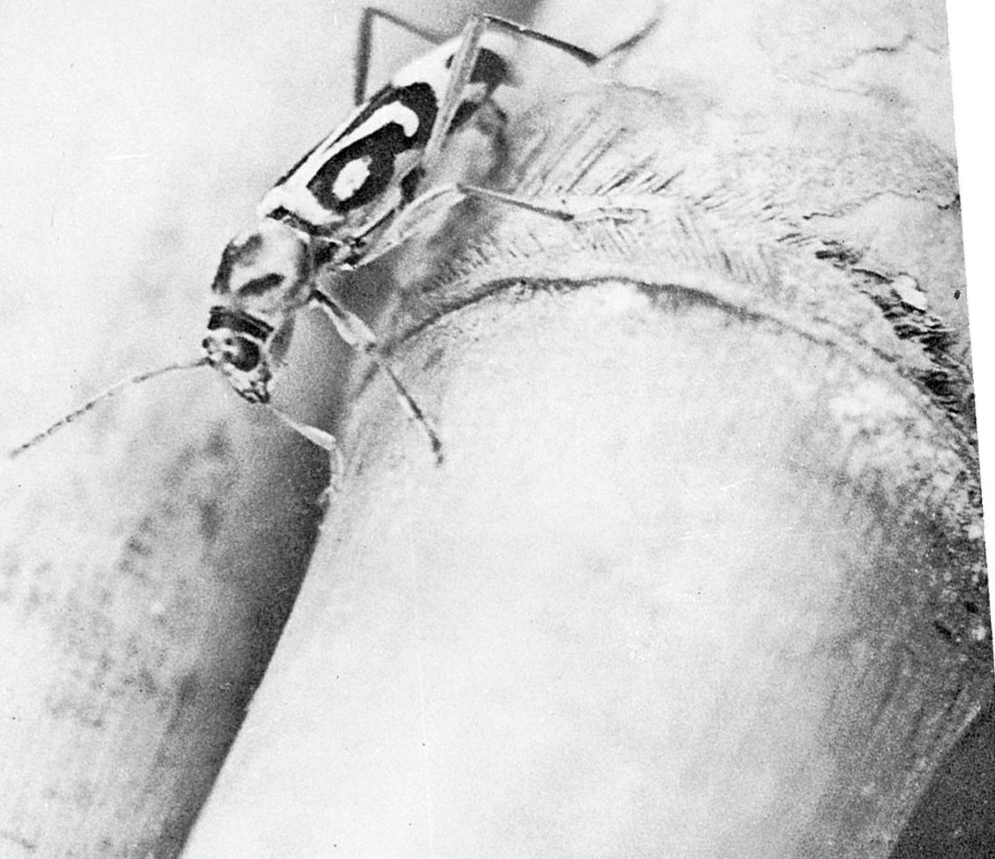
c/o, FUKUDA, 4-26-8,
Higashi-Ueno, Taitō-ku,
Tōkyō Japan

印刷 (株大和印刷)

株式会社

志賀昆虫普及社

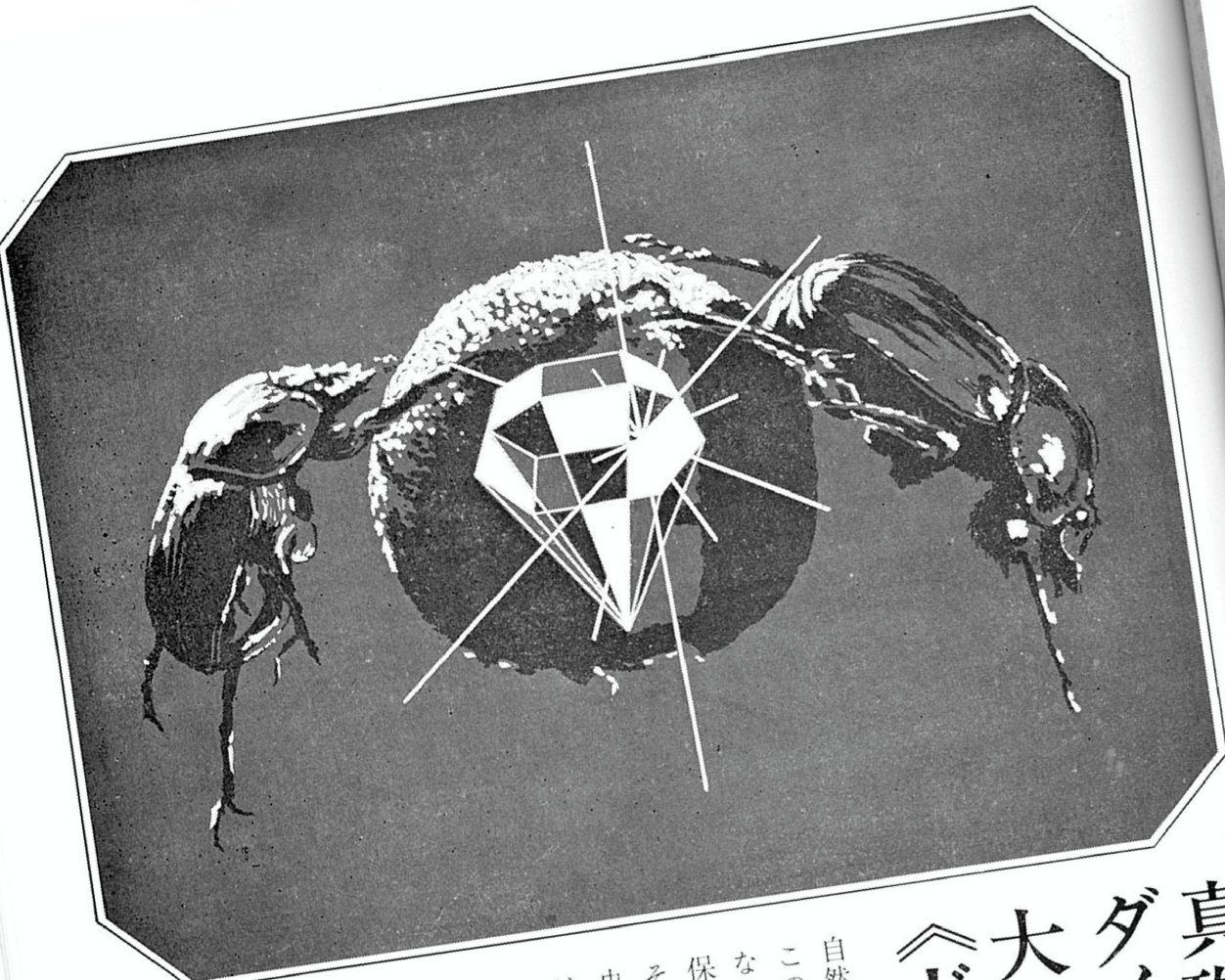
〒110 東京都渋谷区渋谷1丁目7番6号(宮益坂上)
TEL. 03(409)6401(代) 振替/東京21129



- 新製品/最上質ステンレス製シガ有頭昆虫針
0. 1. 2. 3. 4. 5号発売中
- 専門用カタログあり 要郵券 140円
営業種目 採集瓶・採集箱・幼虫胴乱・採集バンド・展翅板類・
飼育用具・顕微鏡・標本箱各種・三角ケース・捕虫網・標本瓶・植
物採集用具・殺虫管・プレパラート製作用具・名箋・ピンセット・
平均台・液浸用管瓶・ルーペ類・コルク類・その他

営業時間：9時～18時

休日：毎日曜，祝祭日，10月1日



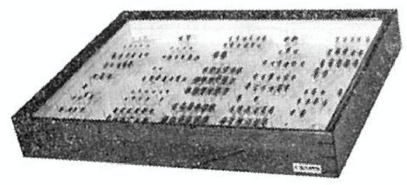
真珠より美しく
ダイヤより価値がある
大切な標本を永久に守る
《ドイツ型標本箱》

自然はますます大切なものとなってきました。この不思議な世界を解明する貴重な手掛りとなる昆虫標本は、価値あるものとして永久に保存したいものです。昆虫標本作所では、昆虫標本の保存に最適なドイツ型標本箱をお届けします。

- *すばらしい特長**
- くるいのこない良質な木材を使用
 - 湿気や乾燥にも強い独特の構造
 - パラゾールにも変化せず、標本がより美しく見える白色プラスチック底
 - 高級ニス塗装の丈夫で美しい仕上げ
- 高級ニス塗装の丈夫で美しい仕上げ
●高級ニス塗装の丈夫で美しい仕上げ
- 標本箱のほか、展翅板など昆虫標本作成に必要な器材もあります。
●標本箱のほか、展翅板など昆虫標本作成に必要な器材もあります。
- 昆虫器材カタログ、昆虫関係輸入図書・委託図書リストもあり。
●昆虫器材カタログ、昆虫関係輸入図書・委託図書リストもあり。

〒113 東京都文京区湯島二丁目二二番五
郵便振替 東京一三三四七九

(有)タツミ製作所



大型 5,000円 (送料別)
中型 4,500円 (送料別)
この価格は昭和52年11月現在のものです

日本鞘翅目学会会則

1. 会名：本会は日本鞘翅目学会〔The Japanese Society of Coleopterology〕と称する。
2. 目的：本会は甲虫研究の進展を計り、あわせて甲虫研究者相互の親睦を深めることを目的とする。
3. 総会：年1回の総会を開くものとする。
4. 活動：本会は次の活動を行なう。
 - a. 機関誌「ELYTRA」の発行。
 - b. 第2会誌「さやばね」の発行。
 - c. その他、甲虫に関する臨時出版物の発行。
 - d. 年1回の総会。
 - e. その他、必要と思われる一切の活動。
5. 会員：本会の会員は正会員・維持会員および特別会員からなり、正会員・維持会員は所定の会費を納めるものとする。
6. 役員：本会には会長ならびに若干名の役員をおくものとする。
7. 会計：会計年度は1ヵ年とし、会計報告を行なう。
8. 入会：本会に入会を希望するものは、指定の会員カードに住所・氏名等を記入し、入会金に1年以上の会費を添え、事務局に申し込むものとする。
9. 会則の変更：上記会則の変更は総会にて承認される。

細 則

- A. 役員は当分の間、下記とする。役員は年2回行なわれる ELYTRA 掲載の原著論文の審査、および会務の決定・運営にあたる。

草間慶一(会長), 衣笠恵士(副会長), 露木繁雄, 小宮次郎, 中村俊彦,
福田惣一, 大木 裕, 高桑正敏, 藤田 宏

- B. 入会金および年会費は下記とする。(前納)

	1974~1976年度	1977年度以降		
入 会 金	500	500	注1) 入会金は入会の年次のみ必要。	
年 度 費	正 会 員 2,000	一 般 3,000	注2) 維持会員は一口につき ¥5,000 で、会誌は2部ずつ送付される。	
			大学生および大学受験生 2,000	注3) バックナンバーの誌代は年会費 の金額に準ずる。
			中・高校生 1,000	
	維持会員 5,000	5,000		

- C. 本会の事務局および編集局は当分の間、下記とする。

○事務局(入会の申し込み、会費の納入、バックナンバーの申し込み、その他事務一切)

〒110 台東区東上野4-26-8 福田惣一方

○編集局(投稿および投稿に関する問い合わせなど、編集関係一切)

〒110 台東区台東2-29-6 藤田 宏方

The ELYTRA welcomes original articles dealing with various aspects of Coleopterology. The bulletin is published semiannually by the Japan Society of Coleopterology. We are willing to exchange with any publication relating to the research and description of Coleoptera.

Japanese Society of Coleopterology

Keiichi KUSAMA, president

Jiro KOMIYA,

Hiroshi OOKI,

Keiji KINUGASA, vice-president

Toshihiko NAKAMURA,

Masatoshi TAKAKUWA,

Shigeo TSUYUKI,

Sôichi FUKUDA,

Hiroshi FUJITA, editors.

All inquiries concerning the ELYTRA should be addressed to: Sôichi FUKUDA c/o, 4 chome. 26-8, Higashi-ueno, Taito-ku, Tokyo, 110, Japan.

ELYTRA Vol. 5 No. 2 目次

原著

- 益本仁夫 (MASUMOTO, K.): 台湾産食糞コガネムシ解説〔5〕
 (A Revision of the Coprophagid-beetles from Formosa〔5〕).....25
- 大平仁夫 (OHIRA, H.): 台湾産コメツキムシ科の知見, VI
 (Notes on Some Elaterid-Beetles from Formosa, VI).....33
- 草間慶一・多比良嘉晃 (KUSAMA, K. & TAHIRA, Y.): 日本産ニセリンゴカミキリ属2種
 の再検討
 (A Revision of Two Species of Genes *Eumecocera* from Japan (Coleoptera,
 Cerambycidae))37
- 草間慶一・多比良嘉晃 (KUSAMA, K. & TAHIRA, Y.): 日本およびその近隣のアラゲケシ
 カミキリ属: (1) 1新種の記載
 (Genus *Exocentrus* MULSANT of Japan and its Adjacent Regions: (1) Notes on A
 New Species39
- 深町 宗通: ムモンズジバネゴミムシの記録.....43
- 深町 宗通: 三宅島におけるキボシアトキリゴミムシの記録.....43
- 矢田 秀雄: シリグロナカボソタマムシの福島県における記録.....43
- 今坂 正一: ナガハムシ亜科6種の記録.....43
- 大桃 定洋: 福島県いわき市のカミキリ6種.....44
- 武智 昭一: 岩手県早池峰山麓でトウホクトラカミキリを採集.....45
- 堤 隆文: 西表島でクビアカモボトホソカミキリの♂を採集.....46
- 草間 慶一: 1951年以降の台湾産カミキリの文献(2).....35

編集後記.....46

表紙(アトコブゴミムシダマシ).....藤田 宏

Cover — *Phellopsis suberea* LEWIS (Zepheridae)